

「共生」を考える授業

2023



「共生」との向き合い方。

それぞれのやれるところから、熱くなれるところから、
はじめてみたらどうだろう。

あるいは、SDGs の 17 目標のうち、
キミには、どんな目標が気になるのだろうか。

どんなひとたちの、どんな地域の、
どんな時代の「共生」のかたちがモヤモヤするのだろう。

貧困に向き合う。

ひとびとが住まう環境に向き合う。

経済や産業の発展に向き合う。

社会的な生に向き合う。

ジェンダー問題に向き合う。

不平等・平和・公正に向き合う。

パートナーシップに向き合う。

SDGs に向き合う。

——まずは、こんなふうに、提案してみたい。

どこからはじめてみてもいい。

「共生」について、共に考え、行動し、
発信する力を試してほしい。



貧困に向き合う

途上国の貧困は勿論のこと、ひとびとの社会に微細に埋め込まれた格差の問題について学びます。

授業科目名	授業題目	学期曜限	担当教員	授業の内容
ラテンアメリカ地域基礎1	ラテンアメリカ政治経済入門	秋・水2	内山直子	植民地時代を経て、先住民・白人・アフリカ系・アジア系・混血（メスティソ・ムラート等）から成る多種多様で複雑な社会構造を持つに至ったラテンアメリカ地域が抱える現代の政治経済的課題を、その歴史的経緯を踏まえて考察する。
ラテンアメリカ地域基礎3	ラテンアメリカ概説：歴史・社会・文化を知る	春・水2	内山直子	先スペイン期から植民地時代、独立とその後までのラテンアメリカの通史を軸に、現代にも見られる社会・文化的側面も交えながらラテンアメリカの多様性と共通性を理解する。
ラテンアメリカ地域研究1	ブラジルの人と社会	春・水1	舩方周一郎	ブラジルにおける格差是正・人種・ジェンダー問題、日本のブラジル人コミュニティ等を通じて、多文化社会のありかたを学ぶ。
アフリカ地域研究1	民族誌から学ぶアフリカの生活世界1	春・木2	大石高典	自然環境と地域社会、国家と民族、家族と個人、難民とホスト社会などの事例を通して、サブサハラ・アフリカ地域をフィールドとした文化人類学がどのように共生を扱ってきたかを学ぶ。
南アジア地域研究	アフガニスタン・パキスタン近現代政治社会史2	秋・火3	登利谷正人	アフガニスタン・パキスタンの現代史を中心に、現在直面している様々な課題の根源を理解する。
社会関係論概論	質的社会調査法	秋・木1	上原こずえ	社会問題を捉えるための方法と倫理について学ぶ。
グローバル・スタディーズ3	私たちのアナキズム研究	春・火3	真島一郎	現代世界におけるアナキズムの多様な表出をふまえ、他者とともに生きていくための根源的な視点を想像する。
政治理論1	ケアの理論と政治理論	春・火2	大川正彦	「ケアの倫理」という問題群が惹き起こした事柄を、ひとまずは政治理論として考え抜き、学ぶ。
国際経済概論1	貿易と直接投資	春・火5	田島陽一	第1にグローバリゼーションなど新自由主義に基づく政策が米国の高学歴ではない白人の死亡率の高まりや巨大な格差とどう関係しているかを見ていく。第2に自由貿易やグローバリゼーションを支持する「比較生産費説」という国際貿易論の基礎的な理論を学び、その有効性と限界性を見極めていく。第3に先進国の中間層の没落と新興国の発展がグローバリゼーションのコインの裏表であり、先進国の中間層の復権がいばらの道であることを見ていく。
開発経済学1	東アジアの経済発展と開発経済学	春・木3	田島陽一	いかにして東アジア諸国は「東アジアの奇跡」と言われる高い経済成長を遂げることができたのか、その一方で、なぜ近年格差が拡大してしまったのか、貧困から抜け出した先に待ち受ける「中所得国の罠」とは何か、「東アジアの奇跡」を実現する上で産業政策は有効だったのか、そしてこれからはどうなのか、民主主義または権威主義と開発はどういう関係にあるのか、という問いについて考察する。
開発経済学2	ラテンアメリカの経済発展と開発経済学	秋・木3	田島陽一	ラテンアメリカ諸国を中心に、どのような開発政策を実施すれば途上国や新興国は経済発展できるのかという問いについて考えていく。オーソドックスな開発経済学の議論では、ラテンアメリカ諸国の経済発展は保護主義的な開発政策をとったから失敗したと言われている。本授業では、東アジアやラテンアメリカなどの国で実施された保護主義的な開発政策とその成果を詳細に見ることによって前述の議論を再検討する。さらに東アジア諸国の経済発展の成功から導き出されたとされる新自由主義的政策が、ラテンアメリカの貧困と格差の縮小に寄与するものであったのかを検討する。
開発経済学3	開発経済学	春・木1	内山直子	発展途上国の経済成長と開発に関する諸問題を分析するための理論を学び、グローバル世界のもとで貧困の解決および先進国と途上国の共生・発展がいかにして実現可能なのかを考える。
開発経済学4	ラテンアメリカの所得格差と開発	秋・木1	内山直子	所得格差がもたらす政治的・経済的・社会的コストを、世界で最も不平等な地域と言われ続けるラテンアメリカの事例をもとに検討し、不平等の世界への影響とそれに対する解決策を考える。
国際機構論	International Cooperation	冬・集中	William Barriga	国際移住機関(IOM)での実務経験を有する講師より、移民問題を中心とする国際協力の実践について学ぶ。

ひとびとが住まう環境に向き合う

地域のひとびとの営みから、ひとびとと自然の豊かさを守るための取り組みについて考えます。



授業科目名	授業題目名	学期曜限	担当教員	授業の内容
オセアニア地域基礎3	オセアニア地域基礎（メラネシア）	春・火2	片岡真輝	地域的・国際的にも注目を浴びつつあるオセアニア地域のうち、メラネシア地域の特徴や歴史、課題を学ぶ。
オセアニア地域研究	「先住民（族）」から考える	秋・金3	山内由理子	「植民地化されるとはどういうことか」を軸として先住民族の立場から「歴史」「環境」などの概念を批判的に検討することを学ぶ。
アフリカ地域研究2	民族誌から学ぶアフリカの生活世界2	秋・木2	大石高典	サブサハラ・アフリカの農村に暮らす女性の一生に焦点を当てた民族誌を読みこみながら、発達、ジェンダー、環境、人類進化について学ぶ。
アフリカ地域研究1	アフリカ農村社会学	春・木5	坂井真紀子	アフリカ農村の生業と地域経済をもとに、グローバル化による行き過ぎた資本主義を再考しオルタナティブな環境と経済のあり方を考える。
アフリカ地域研究2	アフリカと開発	秋	坂井真紀子	「開発」とは何かという問いをアフリカの事例をもとに再考し、経済成長偏重脱却と真の共生社会のためにできることを考える。
ラテンアメリカ地域研究1	国際社会の中のブラジル	秋・水1	舩方周一郎	環境保全・エネルギー・経済発展など地球規模の課題を通じて新興国（グローバル・サウス）が国際関係へどのように関与し新しい世界とどう向き合うかを学ぶ。
環境保全論	環境保全論 A	春・火3	東城文柄	現代社会の諸問題と環境問題の関係性をより深く捉えるための知識について学ぶ。
環境保全論	環境保全論 B	秋・火3	東城文柄	環境問題を考えるために必要な地域調査や定量的なデータ科学技法などについて学ぶ。

経済や産業の発展に向き合う

経済的な豊かさが持つ両義性について学びます。



授業科目名	授業題目名	学期	担当教員	授業の内容
南アジア地域基礎2	南アジア地域研究入門(2)	秋・金2	足立享祐	多言語社会・カースト・宗派対立・経済自由化など、インド社会を規定する歴史的構造と現代的課題について考察する。
東南アジア地域研究1	医療から見るベトナム近現代史	春・木4	小田なら	植民地期以降のベトナムで多様な医療の在り方が社会変容によって変化してきた事例から、異なる価値体系の生成・競合・共存について考える。
アフリカ地域研究2	アフリカと開発	秋・木5	坂井真紀子	「開発」とは何かという問いをアフリカの事例をもとに再考し、経済成長偏重脱却と真の共生社会のためにできることを考える。
国際経済概論1	貿易と直接投資	春・火5	田島陽一	第1にグローバリゼーションなど新自由主義に基づく政策が米国の高学歴ではない白人の死亡率の高まりや巨大な格差とどう関係しているかを見ていく。第2に自由貿易やグローバリゼーションを支持する「比較生産費説」という国際貿易論の基礎的な理論を学び、その有効性と限界性を見極めていく。第3に先進国の中間層の没落と新興国の発展がグローバリゼーションのコインの裏表であり、先進国の中間層の復権がいばらの道であることを見ていく。
開発経済学1	東アジアの経済発展と開発経済学	春・木3	田島陽一	いかにして東アジア諸国は「東アジアの奇跡」と言われる高い経済成長を遂げることができたのか、その一方で、なぜ近年格差が拡大してしまったのか、貧困から抜け出した先に待ち受ける「中所得国の罠」とは何か、「東アジアの奇跡」を実現する上で産業政策は有効だったのか、そしてこれからはどうなのか、民主主義または権威主義と開発はどういう関係にあるのか、という問いについて考察する。
開発経済学2	ラテンアメリカの経済発展と開発経済学	秋・木3	田島陽一	ラテンアメリカ諸国を中心に、どのような開発政策を実施すれば途上国や新興国は経済発展できるのかという問いについて考えていく。オーソドックスな開発経済学の議論では、ラテンアメリカ諸国の経済発展は保護主義的な開発政策をとったから失敗したと言われている。本授業では、東アジアやラテンアメリカなどの国で実施された保護主義的な開発政策とその成果を詳細に見ることによって前述の議論を再検討する。さらに東アジア諸国の経済発展の成功から導き出されたとされる新自由主義的政策が、ラテンアメリカの貧困と格差の縮小に寄与するものであったのかを検討する。
開発経済学3	開発マクロ経済学	春・木1	内山直子	発展途上国の経済成長と開発に関する諸問題を分析するための理論を学び、グローバル世界のもとで貧困の解決および先進国と途上国の共生・発展がいかにして実現可能なのかを考える。
開発経済学4	ラテンアメリカの所得格差と開発	秋・木1	内山直子	所得格差がもたらす政治的・経済的・社会的コストを、世界で最も不平等な地域と言われ続けるラテンアメリカの事例をもとに検討し、不平等の世界への影響とそれに対する解決策を考える。
国際協力論1	アフリカ開発再考：工業化の役割	春・木4	Chitonge Horman 武内 進一	植民地期以降のベトナムで多様な医療の在り方が社会変容によって変化してきた事例から、異なる価値体系の生成・競合・共存について考える。



社会的な生に向き合う

ひとびとが現に生きる社会という場を、多角的に学びます。

授業科目名	授業題目名	学期曜限	担当教員	授業の内容
ラテンアメリカ地域研究1	ブラジルの人と社会	春・水1	舩方周一郎	ブラジルにおける格差は正・人種・ジェンダー問題、日本のブラジル人コミュニティ等を通じて、多文化社会のありかたを学ぶ。
アフリカ地域研究1	アフリカ農村社会学	春・木5	坂井真紀子	アフリカ農村の生業と地域経済をもとに、グローバル化による行き過ぎた資本主義を再考しオルタナティブな環境と経済のあり方を考える。
アフリカ地域研究2	アフリカと開発	秋・木5	坂井真紀子	「開発」とは何かという問いをアフリカの事例をもとに再考し、経済成長偏重脱却と真の共生社会のためにできることを考える。
西南ヨーロッパ地域基礎6	都市社会学ーパリを通して見るフランス社会	春・火2	田邊佳美	パリの事例から、都市という社会空間に埋め込まれた階級・人種・国籍・ジェンダーなどの権力関係について社会学的に考察し、社会制度・政策を批判的に検討する。
東南アジア地域研究1	医療から見るベトナム近現代史	春・木4	小田なら	植民地期以降のベトナムで多様な医療の在り方が社会変容によって変化してきた事例から、異なる価値体系の生成・競合・共存について考える。
中東地域研究2	中東の都市と建築	春・火6	川本智史	西アジアの建築史を手がかりに、人間が暮らし社会を形作る「空間」の形成過程を理解する。
レイシズム・ステディーズ1	レイシズム・ステディーズA	春・木5	梁英聖	レイシズムとは単なる差別ではなく、生と死を分割する権力でもある。本講座はレイシズムがいかにして暴力やジェノサイドに結びつくかを学ぶことで、「共生」実現のために何が求められるのかを自分で考える能力を身につける。
レイシズム・ステディーズ2	レイシズム・ステディーズB	秋・水2	梁英聖	レイシズムはアメリカやヨーロッパやアフリカだけでなく、日本社会も無関係ではない。レイシズムが日本社会でどのような人種差別となって現れるか、そのメカニズムを分析し、日本で「共生」を実現するための方途を考える。
政治社会論入門	政治学原論ー〈共に生きること〉をめぐる倫理と政治	春・火4	大川正彦	〈共に生きること〉を軸にすえて、孤独、ケア、教育、臨床、エコロジー、そして「政治と暴力」といったテーマとのかかわりのなかで学ぶ。
政治社会論入門	政治学原論倫理と環境正義	秋・火4	大川正彦	水俣病を原点において、土地倫理、人間中心主義、環境正義という問題圏にそくして、共生、そして「政治と暴力」について学ぶ。
法学入門1	法学	春・金1	鈴木美弥子	人々が共に生きる社会を支える「法」に関する基本的な知識を学び、日常生活の事例に適用できるようにする。
教育社会学2	教育社会学B	秋・火4	布川あゆみ	教育をめぐるさまざまな「問題」をとりあげながら、教育、社会のあり方を多角的に問う。
経済学1・2	ゲーム理論I・II	春秋・木2	菊地和也	ゲーム理論の習得を通して、利害の異なる主体（個人、組織、国など）の間で生じる戦略的な相互作用について理解を深める。



ジェンダーの問題に向き合う

世界各地におけるジェンダーの問題を、過去と現在の双方の視点から学んでいきます。

授業科目名	授業題目名	学期曜限	担当教員	授業の内容
北アメリカ地域基礎4	アメリカ研究入門	春・木3	大鳥由香子	アメリカ社会を語る上で重要な人種やエスニシティ、ジェンダーといった概念について学ぶ。
西南ヨーロッパ地域基礎6	都市社会学ーパリを通して見るフランス社会	春・火2	田邊佳美	パリの事例から、都市という社会空間に埋め込まれた階級・人種・国籍・ジェンダーなどの権力関係について社会的に考察し、社会制度・政策を批判的に検討する。
東南アジア地域基礎7	フィリピン研究入門2	秋・木3	日下渉	現代フィリピンを事例に、移民、ジェンダー、セクシュアリティ、紛争、フェアトレード、ボランティアなどを考える。
南アジア地域基礎2	南アジア地域研究入門(2)	秋・金2	足立享祐	多言語社会・カースト・宗派対立・経済自由化など、インド社会を規定する歴史的構造と現代的課題について考察する。
北アメリカ地域研究	ジェンダーと高等教育	秋・木2	大鳥由香子	アメリカ合衆国の大学における男女平等への取り組みを学ぶ。特に女子学生のスポーツへの参加と性暴力防止の取り組みについて考える。
南アジア地域研究	インド・パキスタン分離独立論(2)ー動乱の記憶ー	秋・火4	足立享祐	南アジアにおける国家対立、宗派間暴力、難民問題について歴史や文学を題材として考察する。
南アジア地域研究	アフガニスタン・パキスタン近現代政治社会史2	秋・火3	登利谷正人	アフガニスタン・パキスタンの現代史を中心に、現在直面している様々な課題の根源を理解する。
アフリカ地域研究1	民族誌から学ぶアフリカの生活世界1	春・木2	大石高典	自然環境と地域社会、国家と民族、家族と個人、難民とホスト社会などの事例を通して、サブサハラ・アフリカ地域をフィールドとした文化人類学がどのように共生を扱ってきたかを学ぶ。
アフリカ地域研究2	民族誌から学ぶアフリカの生活世界2	秋・木2	大石高典	サブサハラ・アフリカの農村に暮らす女性の一生に焦点を当てた民族誌を読みこみながら、発達、ジェンダー、環境、人類進化について学ぶ。
東南アジア地域研究3	東南アジア研究特論：近現代ベトナムの性と政治	秋・木4	小田なら	近現代ベトナムの社会的規範と多様な性の在り方の社会的承認をめぐる近年の運動を切り口とし、他国の事例との比較から性と政治との関係を考察する。
基礎演習	〈共に生きる〉を〈自分で考える〉：ケアとは何か	秋・木1	大川正彦	ケアとは何かをテーマにして、〈共に生きる〉を自分で考える練習をする。
政治理論2	森崎和江とフェミニズム	秋・火2	大川正彦	植民地朝鮮生まれの詩人・探求者である森崎和江(1927-2022)が遺した「精神史の旅」を辿りながら、〈政治理論〉なるものを unlearn し、それぞれがみずからのことばを奪還する。
政治理論演習	いのち論を劈く：ケアの倫理と〈いのちを産む〉	春・木4	大川正彦	共に生きることをめぐる正義の倫理とケアの倫理という二つの視座を問題化する古典を精読したのち、生きることの原点にも位置する〈いのちを産む〉ことへの思索を深める。
社会関係論入門	ジェンダー論入門	秋・月4	竹田恵子	ジェンダー論の基礎理論を学び、メディア、家族や労働など、ジェンダーがいかに深くわたしたちの生活全般について関わっているのかを丁寧に読み解く。
社会関係論概論	質的社会調査法	秋・木1	上原こずえ	社会問題を捉えるための方法と倫理について学ぶ。
ジェンダー論1	日常とつなげるジェンダーI	春・月5	竹田恵子	フェミニズムの歴史そして、セクシュアル・マイノリティの権利獲得の歴史を辿りながら、他者との「共生」がどのように実現されてきたのか、そして未だ解決されていない課題は何かについて学ぶ。
ジェンダー論2	日常とつなげるジェンダーII	秋・月5	竹田恵子	第三波以降のフェミニズムの特徴と、「ポストフェミニズム」の概念を学ぶ。また、男性の立場から書かれた男性学研究を取り上げ、ジェンダー平等と共生に関する 이슈を深く掘り下げる。
歴史社会研究概論1	「周縁」から考えるグローバル・ヒストリー	春・月2	伊東剛史 大鳥由香子	グローバル・ヒストリーを周縁的存在の視点から考えてみる。
歴史社会研究概論1	ジェンダー史概論	春・火4	小田原琳	人種／民族、階級など他の社会的に構築された差異と交差するジェンダーという概念を歴史的に検討し、過去と現在の社会の多様性を理解する。
世界認識論入門	文化人類学入門	春・火5	真島一郎	他者の生を「知る」ことがいかに困難であるかを認識し、それでも他者とともに生きるための想像力を回復する。
世界認識論入門	レイシズム・スタディーズ入門	春・木4	梁英聖	他者との「共生」は差別との闘いなしにはありえない。本講座では「共生」が偽物にならないための、反レイシズムという規範を学ぶ。
現代社会論	感情史とは何か	春・金2	小野寺拓也	私たちの生きている社会はなぜここまで互いに「わかり合えない」のか、どうすれば私たちはわかり合えるような回路を見つけれられるのか。男は「理性的」で女は「感情的」という考えはなぜ生まれたのか。「感情」という視点から考える。
現代社会論	歴史から教訓は学べるか？ ヴァイマル共和国研究の諸問題	秋・金2	小野寺拓也	当時ももっとも最先端の民主主義国家であったドイツ・ヴァイマル共和国には、どのような発展の可能性があったのか。「新しい女」という最先端の「女らしさ」にはジェンダー秩序を変える可能性があったのか。反ユダヤ主義の台頭を防ぐことは可能だったか。ヒトラーの首相就任を防ぐことはできたのか。最新の研究をもとに考察する。
社会学3	国際社会学ー国民国家の枠組みを超えて	春・水2	田邊佳美	国民国家の枠組みに必ずしも合致しない現象・プロセス・構造やその主体（移民やマイノリティ）をめぐる考察から、国民国家の枠組みを相対化する視点を習得する。
社会学4	移民と国家の社会学ーフランスと欧州を中心に	秋・水2	田邊佳美	フランスとEUの事例から、①移民／難民というカテゴリーの歴史的構築過程の概観、②現代の国境政策の考察、そして③移民研究の批判的検討を通して、移民を問題化する国家や地域共同体、社会科学を再検討する。
グローバル・スタディーズ3	私たちのアナキズム研究	春・火3	真島一郎	現代世界におけるアナキズムの多様な表出をふまえ、他者とともに生きていくための根源的な視点を想像する。
国際機構論	International Protection of Refugees	秋・月3	小尾尚子	国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)における実務経験を有する講師より、難民の庇護の分野における国際機構の実践について学ぶ。
国際法2	International human rights law and international institution	火・金2	富田麻理	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部における実務経験を有する講師より、国連を中心とする国際機構の理論と実践について学ぶ。
国際協力論2	International Cooperation	冬・集中	William Barriga	国際移住機関(IOM)における実務経験を有する講師より、移民問題を中心とする国際協力の実践について学ぶ。



不平等、平和、公正に向き合う

不平等がいかにして生まれたのか、平和と公正を追求する手立てとはなにかを学びます。

授業科目名	授業題目名	学期曜限	担当教員	授業の内容
北アメリカ地域基礎4	アメリカ研究入門	春・木3	大鳥由香子	アメリカ社会を語る上で重要な人種やエスニシティ、ジェンダーといった概念について学ぶ。
ラテンアメリカ地域基礎1	ラテンアメリカ政治経済入門	秋・水2	内山直子	植民地時代を経て、先住民・白人・アフリカ系・アジア系そして混血（メスティソ・ムラート等）から成る多種多様で複雑な社会構造を持つに至ったラテンアメリカ地域が抱える現代の政治経済的課題を、その歴史的経緯を踏まえて考察する。
中東地域基礎2	中東／西アジア・北アフリカ地域基礎（アラブ地域）	春・月1	青山弘之	中東を宗教、紛争、テロといったステレオタイプで捉えることの弊害を考える。
ヨーロッパ地域基礎6	都市社会学ーパリを通して見るフランス社会	春・火2	田邊佳美	パリの事例から、都市という社会空間に埋め込まれた階級・人種・国籍・ジェンダーなどの権力関係について社会的に考察し、社会制度・政策を批判的に検討する。
東南アジア地域基礎6	フィリピン研究入門1	春・水2	日下渉	フィリピンの経験を事例に、平等の原則に基づく民主主義と、不平等を生み続ける資本主義の関係を考える。
東南アジア地域基礎7	フィリピン研究入門2	秋・木3	日下渉	現代フィリピンを事例に、移民、ジェンダー、セクシュアリティ、紛争、フェアトレード、ボランティアなどを考える。
オセアニア地域基礎3	オセアニア地域基礎（メラネシア）	春・火2	片岡真輝	安全保障や環境問題で注目を浴びつつあるオセアニア地域のうち、メラネシア地域の特徴や歴史、課題を学ぶ。
アフリカ地域基礎1	アフリカ地域研究入門1	春・火2	坂井真紀子	帝国主義に翻弄された植民地期アフリカの歴史を中心に学び、現代アフリカが抱える問題とそれを共に乗り越えるための視座を模索する。
北アメリカ地域研究	ジェンダーと高等教育	秋・木2	大鳥由香子	アメリカ合衆国の大学における男女平等への取り組みを学ぶ。特に女子学生のスポーツへの参加と性暴力防止の取り組みについて考える。
中東地域研究2	アラブ地域政治事情	秋・月2	青山弘之	現代アラブ地域の政治にかかる代表的な事象を、地域研究と比較政治学的手法を駆使して解明し、同地域が直面する諸々の問題の所在を明らかにする。
アフリカ地域研究2	民族誌から学ぶアフリカの生活世界2	秋・木2	大石高典	サブサハラ・アフリカの農村に暮らす女性の一生に焦点を当てた民族誌を読みこみながら、発達、ジェンダー、環境、人類進化について学ぶ。
オセアニア地域研究	「先住民（族）」からみる	春・金3	山内由理子	近代国民国家形成の「陰」として創出された先住民の人々の立場から現代世界の仕組みに関して多角的に考える視覚を学ぶ。
南アジア地域研究	インド・パキスタン分離独立論(2)ー動乱の記憶ー	秋・火4	足立享祐	南アジアにおける国家対立、宗派間暴力、難民問題について歴史や文学を題材として考察する。
南アジア地域研究	アフガニスタン・パキスタン近現代政治社会史1	春・火3	登利谷正人	アフガニスタン・パキスタンを中心とした南アジアのムスリム社会について、政治・歴史・宗教の多様な側面を理解し、現代社会における成り立ちについて理解を深める。
南アジア地域研究	アフガニスタン・パキスタン近現代政治社会史2	秋・火3	登利谷正人	アフガニスタン・パキスタンの現代史を中心に、現在直面している様々な課題の根源を理解する。
東南アジア地域研究1	医療から見るベトナム近現代史	春・木4	小田なら	植民地期以降のベトナムで多様な医療の在り方が社会変容によって変化してきた事例から、異なる価値体系の生成・競合・共存について考える。
東南アジア地域研究3	東南アジア研究特論：近現代ベトナムの性と政治	秋・木4	小田なら	近現代ベトナムの社会的規範と多様な性の在り方の社会的承認をめぐる近年の運動を切り口とし、他国の事例との比較から性と政治との関係を考察する。
歴史社会研究入門1	世界史を開く	春・水4	リレー	さまざまな時代・地域に生きた人々について知り、彼らの世界認識や多文化社会のあり方を学ぶ。
歴史社会研究概論1	「周縁」から考えるグローバル・ヒストリー	春・月2	伊東剛史 大鳥由香子	グローバル・ヒストリーを周縁的存在の視点から考えてみる。
歴史社会研究概論1	ジェンダー史概論	春・火4	小田原琳	人種／民族、階級など他の社会的に構築された差異と交差するジェンダーという概念を歴史的に検討し、過去と現在の社会の多様性を理解する。
地域社会研究概論	ナショナリズムとイスラーム主義	春・月2	青山弘之	ナショナリズムが人々の統合や分断をどのようにもたらすかを考察する。
法学入門1	法学	春・金1	鈴木美弥子	ひとびとが共に生きる社会を支える「法」に関する基本的な知識を学び、日常生活の事例に適用できるようにする。
世界認識論入門	文化人類学入門	春・火5	真島一郎	他者の生を「知る」ことがいかに困難であるかを認識し、それでも他者とともに生きるための想像力を回復する。
世界認識論入門	レイシズム・スタディーズ入門	春・木4	梁英聖	他者との「共生」は差別との闘いなしにはありえない。本講座では「共生」が偽物にならないための、反レイシズムという規範を学ぶ。
レイシズム・スタディーズ1	レイシズム・スタディーズA	春・木5	梁英聖	レイシズムとは単なる差別ではなく、生と死を分割する権力でもある。本講座はレイシズムがいかにして暴力やジェノサイドに結びつくかを学ぶことで、「共生」実現のために何が求められるのかを自分で考える能力を身につける。
レイシズム・スタディーズ1	レイシズム・スタディーズB	秋・水2	梁英聖	レイシズムはアメリカやヨーロッパやアフリカだけでなく、日本社会も無関係ではない。レイシズムが日本社会でどのような人種差別となって現れるか、そのメカニズムを分析し、日本で「共生」を実現するための方途を考える。
グローバル・スタディーズ3	私たちのアナキズム研究	春・火3	真島一郎	現代世界におけるアナキズムの多様な表出をふまえ、他者とともに生きていくための根源的な視点を想像する。
社会学3	国際社会学ー国民国家の枠組みを超えて	春・水2	田邊佳美	国民国家の枠組みに必ずしも合致しない現象・プロセス・構造やその主体（移民やマイノリティ）をめぐる考察から、国民国家の枠組みを相対化する視点を習得する。
社会学4	移民と国家の社会学ーフランスと欧州を中心に	秋・水2	田邊佳美	フランスとEUの事例から、①移民／難民というカテゴリーの歴史的構築過程の概観、②現代の国境政策の考察、そして③移民研究の批判的検討を通して、移民を問題化する国家や地域共同体、社会科学を再検討する。

授業科目名	授業題目名	学期曜限	担当教員	授業の内容
国際経済概論1	貿易と直接投資	春・火5	田島陽一	第1にグローバリゼーションなど新自由主義に基づく政策が米国の高学歴ではない白人の死亡率の高まりや巨大な格差とどう関係しているかを見ていく。第2に自由貿易やグローバリゼーションを支持する「比較生産費説」という国際貿易論の基礎的な理論を学び、その有効性と限界性を見極めていく。第3に先進国の中間層の没落と新興国の発展がグローバリゼーションのコインの裏表であり、先進国の中間層の復権がいばらの道であることを見ていく。
開発経済学 1	東アジアの経済発展と開発経済学	春・木3	田島陽一	第1にグローバリゼーションなど新自由主義に基づく政策が米国の高学歴ではない白人の死亡率の高まりや巨大な格差とどう関係しているかを見ていく。第2に自由貿易やグローバリゼーションを支持する「比較生産費説」という国際貿易論の基礎的な理論を学び、その有効性と限界性を見極めていく。第3に先進国の中間層の没落と新興国の発展がグローバリゼーションのコインの裏表であり、先進国の中間層の復権がいばらの道であることを見ていく。
国際政治概論	国際政治理論	春・金4	中山裕美	ケネス・ウォルツが提示した3つのイメージ（分析視覚）と国際政治学が提唱する3つの理論への理解を通して、戦争を抑止し平和を実現するための方策について考える力を養う。
国際政治論 1	グローバルガバナンス論と難民・移民問題	春・木3	中山裕美	国家や非国家主体が難民・移民問題等のグローバルな問題の解決に向けてどのような役割を果たすことができるのかを学ぶ
国際政治論 2	地域主義比較分析	秋・木3	中山裕美	平和や経済成長を実現するための手段としての地域主義の役割について学んだ後、世界各地の地域主義の比較分析を通して、地域主義の普遍性や地域的特徴への理解を深める。
国際機構論	International Protection of Refugees	秋・月3	小尾尚子	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) での実務経験を有する講師より難民庇護分野での国際機構の実践について学ぶ。
国際法 2	International human rights law and international institution	秋・火2	富田麻理	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部での実務経験を有する講師より人権に関する国際法や国際機関について学ぶ。
国際協力論 1	歴史認識論	春・金3	片岡真輝	様々な背景や課題を抱える紛争後社会において、対立集団間でいかに和解を達成していくのかを学ぶ。
国際協力論 2	紛争後社会と和解	秋・火2	片岡真輝	戦争や紛争などの記憶が社会に及ぼす影響を学び、異なる立場や価値観、歴史認識を持つ他者とのつながりを考えていく。
国際協力論 2	アフリカの紛争と平和構築	冬・集中	武内進一	ルワンダの協定校 PIASS の学生とオンラインでともに学び、議論しながら、アフリカの紛争と平和構築について考える。
比較政治学 2	西欧現代政治論	春・月4	若松邦弘	西欧各国が抱える政治的課題を理解するための枠組みへの理解を深め、寛容な社会について考える。



パートナーシップに向き合う

ひとびとが手を取り合うパートナーシップの在り方について、さまざまレベルから考えます。

授業科目名	授業題目名	学期曜限	担当教員	授業の内容
東南アジア地域基礎 7	フィリピン研究入門 2	秋・木3	日下渉	現代フィリピンを事例に、移民、ジェンダー、セクシュアリティ、紛争、フェアトレード、ボランティアなどを考える。
オセアニア地域基礎 3	オセアニア地域基礎 (メラネシア)	秋・火2	片岡真輝	地域的・国際的にも注目を浴びつつあるオセアニア地域のうち、メラネシア地域の特徴や歴史、課題を学ぶ。
国際政治論 2	グローバルガバナンス論と難民・移民問題	春・木3	中山裕美	国家や非国家主体が難民・移民問題等のグローバルな問題の解決に向けてどのような役割を果たすことができるのかを学ぶ。
国際機構論	The practical aspects of the international organizations	夏・集中	横井幸生	国連食糧農業機関 (FAO)、経済協力開発機構 (OECD) 等の国際機構における実務経験を有する講師より、SDGs の観点を含む国際機構の実践について学ぶ。
国際法 2	International human rights law and international institution	秋・火2	富田麻理	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部における実務経験を有する講師より、国連を中心とする国際機構の理論と実践について学ぶ。
開発経済学 3	開発経済学	春・木1	内山直子	発展途上国の経済成長と開発に関する諸問題を分析するための理論を学び、グローバル世界のもとで貧困の解決および先進国と途上国の共生・発展がいかにして実現可能なのかを考える。
開発経済学 4	ラテンアメリカの所得格差と開発	秋・木1	内山直子	所得格差がもたらす政治的・経済的・社会的コストを、世界で最も不平等な地域と言われ続けるラテンアメリカの事例をもとに検討し、不平等の世界への影響とそれに対する解決策を考える。
経済学 1・2	ゲーム理論Ⅱ	春秋・木2	菊地和也	ゲーム理論の習得を通して、利害の異なる主体（個人、組織、国など）の間で生じる戦略的な相互作用について理解を深める。
国際協力論 1	歴史認識論	春・金3	片岡真輝	戦争や紛争などの記憶が社会に及ぼす影響を学び、異なる立場や価値観、歴史認識を持つ他者とのつながりを考えていく。
国際協力論 2	紛争後社会と和解	秋・火2	片岡真輝	様々な背景や課題を抱える紛争後社会において、対立集団間でいかに和解を達成していくのかを学ぶ。

SDGs に向き合う

SDGs をはじめとする、国際協力の在り方について、いまいちど、真剣に考えます。



授業科目名	授業題目名	学期曜限	担当教員	授業の内容
地域社会研究入門 1	地域社会と SDGs	春・水3	リレー	アジア・アフリカ・ラテンアメリカの事例分析を通じて、SDGs をはじめとする西欧近代的な諸価値観と地域社会の政治・社会・文化の関係への理解を深める。
国際政治概論 1	国際協力の史的展開	春・月1	武内進一	国際協力という現象がどのように出現し、今日まで変容してきたのかを学ぶ。
国際協力論 1・2	国際協力と日本の経験	春秋・火4	松本勝男	国際開発の基礎知識を修得し、日本の開発協力が直面する課題を考える。

東京外国語大学 国際社会学部で学ぶ キミたちへ

キミじしんが「共生」への向き合いかたを深めてゆくときに、以下のことも、チラチラ気にしてみてもはどうだろうか。復習のときの手掛かりとしてもつかってほしい。

その壹—共生のかたち。

さまざまな地域、さまざまな時代を生きる人びとは、どんなふうにして、共生のかたちを探り、模索してきたのだろう。そして、いまも。もうひとつのかたち、もっとたくさんのかたちを知ってみよう。共生とは生きているひとたちのあいだだけの話であるのかどうかも含めて。

その貳—共生の論点。

いったい、ひとびとは、どんなことを問題に、共生をまさぐってきたのか。どんな事柄で、不和、対立、争いを繰り返し、それでも共生をもとめてきたのか。みんな仲良くではない「共生」の実相をみつめてみよう。自然環境との「共生」のありようじたい、一筋縄ではゆかない論点のひとつだ。

その参—共生の振幅。

寛容と不寛容、包摂と排除、求心と遠心、分散と糾合、対立と統合、……。焦点をたった一つに絞り込むのではなく、大きな振幅のなかで、共生の道をたずねてみよう。ものごとを両義的にみてゆく習慣や、二つの焦点をもつ「楕円」（花田清輝）のイメージのなかで考えてみる習慣も役にたつかも说不定。

その肆—共生の足元。

授業で「共生」をどれほどしっかり学んでいたとしても、日々の生活で、共に生きてゆく足場で、足元で、キミじしんの「共生」が心もとないのはすこし寂しい。できれば、ひとりひとりが共に生きてゆく足元で、キミの知恵が活かされることが望ましいにちがいない。どんな工夫や知恵を蓄えられるか。

その伍—共生の手仕事。

共生をめぐる大きな話も、小さな話も———というか、小さな話はなおのこと———手仕事が重要になってくるものなのだろう。足元を見つめることも重要だけれど、足だけではなく、手間暇かけて、どんな「共生」をつくってゆくことができるのか。もっともっと、たくさんの「共生」のかたちを、キミじしんも試してゆこう。日々是実験。

「共生」を考える授業

2023 年度版

発行

2023 年 3 月 30 日発行

東京外国語大学 国際社会学部
